



OKAYA

岡谷ロータリークラブ

- 会長／小野 仁
- 副会長／宮坂宥澄・佐藤有司
- 幹事／山岸邦太郎
- 会報・雑誌・広報委員長／林 尚孝

- 事務所／岡谷市中央町 1-4-12 ホテル岡谷 3F  
Tel/0266-22-6939・Fax/0266-23-6939・URL:<http://okayarc.org>・E-mail:[okayarc@amber.plala.or.jp](mailto:okayarc@amber.plala.or.jp)
- 例会／毎週火曜日 PM12:30 ホテル岡谷

## 第 2563 回例会 2012 年（平成 24 年）4 月 3 日（火）

点 鐘：小野 仁 司 会：高木昭好

斉 唱：君が代・奉仕の理想

ラッキーNo.：No. 23 中村文明

皆 勤 祝：大橋正明 33 年・小口泰史 16 年・太田博久 6 年  
佐藤有司 6 年

誕 生 祝：藤森睦美・山岡晴男・宮澤由己・梅垣和彦



誕生祝

## 会長挨拶

例年になく寒かった冬も終わり、ようやく春らしくなりました。

あと 3 ヶ月で今年度は終わりますが、5 月 19 日に富岡 RC との友好クラブ締結式を控えています。多くの皆様のご出席をいただき感謝しております。交流担当の両副会長が中心となって準備は着々と進んでおります。現在は富岡側で進めている段階です。返事がきて、最終のまとめをして、5 月 8 日の例会で皆様にご報告をする予定です。

また、エレクト事務所の陣容も整いこの 3 ヶ月でスムーズな出発が出来るかと考えております。更なる皆様のご協力をお願いいたします。

## 会長報告

- ・脇坂さんのご尊父がお亡くなりになりました。会員一同として弔電を送りました。
- ・米山奨学生 劉 曉紅さんのカウンセラーを井上保子さんが引き受けて下さいました。

## 委員会報告

会報・雑誌・広報委員会 諏訪グループ会員名簿の写真を撮ります。時間のある方はお残り下さい。今月中に撮り終えたいと思いますので、よろしくお願ひします。



## ロータリー情報

ロータリー情報委員会  
副委員長 白鳥修次会員

### 【ポール・ハリスの入生〈年表〉】

- 1868年 4/19 ウィスコン州ラシーンで誕生。  
1871年 1月 破産によって一家離散。9月三度目の破産。祖父母に預けられ、これ以降両親とは完全に別離。
- 1887年 プリンストン大学入学。  
1888年 祖父ハワードの死去により経済的理由で退学する。  
1889年 アイオワ大学ロースクール入学。  
1890年 祖母パメラ逝去  
1891年 アイオワ大学卒業、取得直ちに弁護士資格。五年間の愚行開始  
1896年 五年間の愚行終了。シカゴにて弁護士開業。  
1905年 シカゴ・ロータリークラブ創立  
1907年 シカゴ・ロータリークラブ会長就任。  
1910年 ジーン・トムソンと結婚。全米ロータリークラブ連合会長就任。  
1912年 連合会長辞任、終身名誉会長就任。以後1926年までロータリー活動の表舞台に登場せず。  
1929-1931年 病氣療養。  
1935年 サンフランシスコ国際大会出席後、ハワイ、日本、上海、香港、マニラメナド、オーストラリア、ニュージーランド公式訪問。  
1946年 病床の中で「My Road to Rotary」完成。  
1947年 1/27 逝去 享年78歳

### 【ロータリークラブが創立された背景】

産業革命後の19世紀から20世紀初頭は醜い資本家の欲望が労働者を搾取した時代でした。いかにして利潤を独占しようかと、資本家が弱肉強食の競争に明け暮れていた時代であり、特に西部に進出するための交通の要衝として栄えたシカゴは、成功を夢見た人たちが集まった法と腐敗の街であり、事業主は無秩序な自由競争に狂奔し、同業者はすべてライバルであり、法さえ犯さなければ金を儲けたものが成功者としてもてはやされました。騙すより騙される方が悪いという風潮がまかり通っていました。

そんな街のなかでポール・ハリスは弁護士を開業しました。しかしなかなか親友もできず、孤独感と疎外感が常に付きまとっていました。もしも心から何でも相談でき、また語り合える友人がいたらどんなに素晴らしいことだろうと考え、付き合いのある4人でロータリークラブが生まれました。

当初のシカゴ・ロータリークラブには奉仕の概念はなく、事業の繁栄と親睦を目的にして創立されました。

定款第2条の目的には、①会員の事業上の利益の促進。②通常、社交クラブに付随する良き親睦とその他の特に必要と思われる。事項の推進と明記されています。

## 【ロータリーに奉仕の概念の導入】

1906年4月特許弁理士のドナルド・カーターが友人の勧めで入会して、「全く利己的な組織は生き残ることはできません。忠誠心を市民に広げて、シカゴ市の利益のために何かをすべきです。」と主張しました。そこで第3節に次の条文が加わりました。

③シカゴ市の最大の利益を促進し、忠誠心を市民の間に広げること。その結果、具体的な活動として、シカゴ中心部に公衆便所の設置が展開されました。

ロータリーに奉仕という概念を提唱したのは、アーサー・フレデリック・シェルドンです。

1902年にシェルドン・ビジネス・スクールを設立して、修正資本主義を取り入れた、20世紀の経営学を教えました。

彼は継続的な事業の発展を得るためには、自分の利益を優先するのではなく自分の職業を通じて社会に貢献するという意図を持って事業を営むべきだと考えました。また利益を独占するのではなく、従業員や取引に関係する人たちと適正に再配分することが継続的に利益を得る方法だと考えたのです。

1911年に当時のロータリークラブ連合体が、そのままロータリーの奉仕理念として採択し、さらにその考え方は職業奉仕となって現在に至っています。シェルドンの考え方がロータリーの職業奉仕の理念として確定し、それをロータリアンの事業所に適用しようとして作られたのが道德律です。

1915年7月19～23、サンフランシスコにおける第6回国際ロータリー・クラブ年次大会によって採択されました。

## 【職業人のためのロータリー道德律】

第1条 自分の職業は価値あるものであり、社会に奉仕する絶好の機会を与えられたものと考えること。

第2条 自己改善を図り、実力を培い、奉仕を広げること。それによって、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」というロータリーの基本原則を実証すること。

第3条 自分は企業経営者であるが故、成功したいという大志を抱いていることを自覚すること。しかし、道徳を重んじる人間であり、最高の正義と道徳に基づかない成功は、まったく望まないことを自覚すること。

第4条 自分の商品、自分のサービス、自分のアイデアを金銭と交換することは、すべての関係者がその交換によって利益を受ける場合に限り、合法的かつ積極的であると考えこと。

第5条 自分が従事している職業の倫理基準を高めるために最善を尽くすこと。そして自分の仕事のやり方が、賢明であり、利益をもたらすものであり、自分の実例に倣うことが幸福をもたらすことを、他の同業者に悟らせること。

第6条 自分の同業者よりも同等またはそれに優る完全なサービスをすることを心がけて、事業を行うこと。やり方に疑いがある場合は、負担や義務の厳密な範囲を超えて、サービスを付け加えること。

第7条 専門職種または企業経営者の最も大きい財産の一つこそ、友人であり、友情を通じて得られたもこそ、卓越した倫理にかなった正当なものであることを

理解すること。

第8条 真の友人はお互いに何も要求するものではない。利益のために友人関係の信頼を濫用することは、ロータリーの精神に相容れず、道徳律を冒瀆するものであると考えること。

第9条 社会秩序の上で、他の人たちが絶対に否定するような機会を不正に利用することによって、非合法的または非道徳的な個人的成功を確保することを考えてはならない。物質的成功を達成するために、他の人たちが道徳的に疑わしいという理由から採らないような、有利な機会を利用しないこと。

第10条 私は人間社会の他のすべての人以上に、同僚であるロータリアンに義務を負うべきではない。ロータリーの真髄は競争ではなくて協力にあるからである。ロータリーのような機関は、決して狭い視野を持ってはならず、人権はロータリークラブのみに限定されるものではなく、人類そのものとして深く広く存在するものであるとを、ロータリアンは断言する。さらに、ロータリーはこれらの高い目標に向かって、すべての人やすべての組織を教育するために、存在するのである。

第11条 最後に、「すべての人にせられんと思うことは、他人にもその通りにせよ」という黄金率の普遍性を信じ、我々がすべての人にこの地球上の天然資源、を機会均等に分け与えられた時に、社会が最もよく保たれることを主帳するものである。

1920年から1930年にかけての10年間は、ロータリーの職業奉仕が社会に大きな影響を及ぼした爛熟期といえます。

1948年にパーシー・ホジソンが「奉仕こそわがつとめ」を書いた直後に、R Iの職業奉仕委員会が廃止になり、1963年の「職業分類の概要」の発行を最後に職業分類への関与からも手を引いて、事実上R Iのプログラムから職業奉仕は消えてしまい、その後の世界経済や産業構造の大きな変化に適用できないまま現在に至ったのです。

### 【新資本主義の台頭】

1970年代頃から企業の国際化が進んでグローバル時代に突入すると、資本家対経営者対労働者という三者対立の中に第四の存在とでも言うべき、投資ファンドに代表される擬似資本家が加わってきました。

職業は社会に奉仕するために存在することを忘れてはなりません。すべてを市場の委ねる新資本主義を許したのがアメリカのロータリアンを基盤にした共和党政権であり、日本の経済界もこれに追随していたわけです。

自分の儲けのためだけにM&Aやデリバティブやレパレッジとあらゆる手段を使って錬金術に狂奔することを許す、共和党の資金源となったエンロンを始め、石油や穀物や貴金属や不動産を買い漁った投資ファンドを生み出した揚句、サブプライム・ローン問題に端を発した世界経済恐慌をもたらしました。

アメリカの共和党政権の外圧によって、日本においてこの考え方を積極的に導入したのが、小泉・竹中ラインです。

すべての規制を外して市場の原理に任せ、さらに論理感による規制を排除すれば究極の拝金思想に走った、何でもありの弱肉強食のハゲタカの社会、すなわち新資本主義に陥ることが実証されました。

しかもその虚構の社会は巨額の年金基金や現実の通貨の何百倍もの借金を残して世界的な不況をもたらして崩壊することも同時に学んだのです。

資本家が利益を独占していた時代に、ロータリーの奉仕理念は生まれました。そうして、利益の適正配分や従業員の福利厚生といった修正資本主義を先取りしながら、ロータリー運動は発展していきました。しかし、その段階からロータリーは職業奉仕の道を外れ、ボランティア活動に進路を変更しました。

サブプライム・ローン問題に端を発した世界経済恐慌という大きな代償を払って、やっと全世界の職業人が新資本主義に疑義を感じ始めた今こそ、ロータリアンは経営者の立場から、株主や従業員はもちろん両業者や顧客も満足するような職業奉仕理念を根底にした、正常な企業経営ができるように、リーダーシップを発揮すべきではないでしょうか。

日本のロータリークラブは何故、衰退の一途を辿っているのでしょうか。それはロータリーに入るメリットが余りにも少ないからではないかと思えます。

世界で一番高い会費を払って、その上任意だとは言いながら、半ば強制的にロータリー財団や米山奨学金の寄付を割り当てられます。その見返りとして得られるものは、ロータリーの友情と人道的奉仕活動に参加したという達成感かも知れませんが、支払った会費や寄付金に比べて、余りにも少ないメリットと余りにも低い世間の評価が、衰退の大きな理由になっているのではないかと思えます。

企業経営上の問題点を胸襟を開いて相談できる環境がクラブ内にあるのでしょうか。自分が直面する問題を親身になって相談できる友人がクラブ内にいるのでしょうか。ロータリークラブ創立の原点が親睦にあったことを思い起こして、今一度クラブ内に真の親睦を確立する必要があります。

クラブ・ライフを活性化するには、ロータリアンに大きなメリットを与えなければなりません。そのメリットこそ会員同士の深い親睦と会員の事業の発展でありそのメリットによって活性化されたクラブ・ライフによって、初めてロータリーの奉仕理念に基づいた奉仕活動の実践ができるのです。

## ニコニコボックス

林 裕彦 長野県体育協会 会長阿部知事より有功章をいただきました。  
梅垣和彦・太田博久・大橋正明・小口成人・小口泰史・尾関秀雄・小野 仁・北澤  
洋之介・北村正春・杉田隆夫・瀬戸雅三・高木昭好・竹村一幸・塚田保則・中嶋孝  
一・中村文明・瀨 俊弘・林広一郎・林 尚孝・林 裕彦・林 靖高・原 史郎・  
平沢清文・藤森睦美・宮坂 伸・宮坂宥洪・宮坂宥澄・矢島 實・山岡晴男・山岡  
正邦・山岸邦太郎・山崎典夫 4月になりました。気分一新頑張りましょう！！  
平沢清文 4月1日が創業記念日です。

## 出席報告

会員数46名、出席者34名、出席率80.95%、前々回訂正93.02%

2011-2012 年度R1 テーマ  
こころの中を見つめよう  
博愛を広げるために  
Reach Within to Embrace Humanity

